

中学校第3学年 社会科単元計画【課題発見・解決学習】

指導者 三次市立八次中学校

単元名：地域ごとに決まりが違うことを説明しよう

本単元で育成する資質・能力
コミュニケーション能力・解決力

単元の目標

【単元の目標】

(1) 地方公共団体の政治の仕組みを理解させるとともに、住民の権利や義務と関連づけて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識をそだてる。

単元計画

指導の計画（全5時間）

次	学習内容(時数)	評価規準
一	<p>課題の設定①</p> <p>地方自治の基本的な考え方を理解する</p> <p>○地域の政治はどのような考えに基づいて行われているのかを知る</p> <p>なぜ「広島県」「三次市」などの分け方があるのだろう。</p> <p>・住む地域は多様で、課題も地域によって様々である。</p> <p>・住民の意思と責任で決めていく政治を地方自治といい、地方公共団体が単位であることを知る。</p> <p>・地方自治は憲法で保障され、そのための権限が与えられていることを知る。(地方分権)</p> <p>情報の収集①</p> <p>・広島市と三次市の予算の資料から医療費の差について、この問題を解決するための情報を考える。</p> <p>【単元を貫く課題】</p> <p>三次市に住むAさんと広島市に住むBさん。同じケガをして病院に行ったのにAさんの治療費だけ500円でBさんの治療費より安く済みました。調べてみると、三次市では市が医療費の助成をしており、18歳まで自己負担500円で医療が受けられるようになっています。</p> <p>「なぜ、三次市では1億5000万円近い予算を充てて医療費の助成をする決まりを定めているのでしょうか？」他地域の決まりや三次市が抱える課題を踏まえて説明してください。</p>	<p>エ 地方自治は、住民参加による住民自治が基本であることを理解している。【知識・理解】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの仮説を立てる。 	<p>ア 三次市の条例について関心を持ち、自分の考えを表現している。</p>
二	<p>○地方公共団体の仕事と仕組みを理解する。</p> <p>同じ日本国内で、なぜ地域ごとに違う決まりがあるのだろう。</p> <p>情報の収集②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体の具体的な仕事を資料から読み取る。 ・各地の条例から、その制定の目的を考察する。 	<p>ウ それぞれの条例の制定の目的について、資料からその良さやねらいについて読み取ることができる。【技能】</p> <p>イ 調べたことについて、資料を根拠としてわかりやすく説明することができる。【思考・判断・表現】</p>
三	<p>○三次市が抱えている課題を知る。</p> <p>三次市が抱えている課題を説明しよう</p> <p>情報の収集③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料から三次市の財政を読み取る。 ・三次市における住民参加について理解する。 	<p>ウ 三次市の財政の特色を資料から読み取ることができる。【技能】</p> <p>エ 地方自治は、住民参加による住民自治が基本であることを理解している。【知識・理解】</p>
四	<p>○三次市の医療費助成のねらいを考える。</p> <p>三次市は自主財源が少ないにもかかわらず、なぜ医療費助成をするのだろう。</p> <p>まとめ・表現①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次市の政策から、三次市のねらいを予想する。 ・医療費助成と三次市のねらいとの関連を考える。 ・単元を貫く課題について表現する。 	<p>イ 三次市の政治について多面的・多角的に考察し、医療費助成に込められている三次市のねらいについて適切に表現している。【思考・判断・表現】</p>
五	<p>新たな課題の設定②</p> <p>○三次市の抱える課題を克服し、よりよい三次市となるための対策を考える。</p> <p>三次に新しい条例案を提言しよう。</p>	<p>ア 三次市の将来について関心を持ち、自分たちの考えた条例がどのような影響を与えるのかを考え、表現している。【関心・意欲・態度】</p>

情報の収集④

- ・三次市の現状と問題点について理解する。
- ・三次市の魅力を活かし、目指すべき将来像につながる条例案を考える。

まとめ・表現②

- ・意見交流を行う。
- ・意見交流を踏まえ、実行可能な条例案を三次市への提言を発表する。